

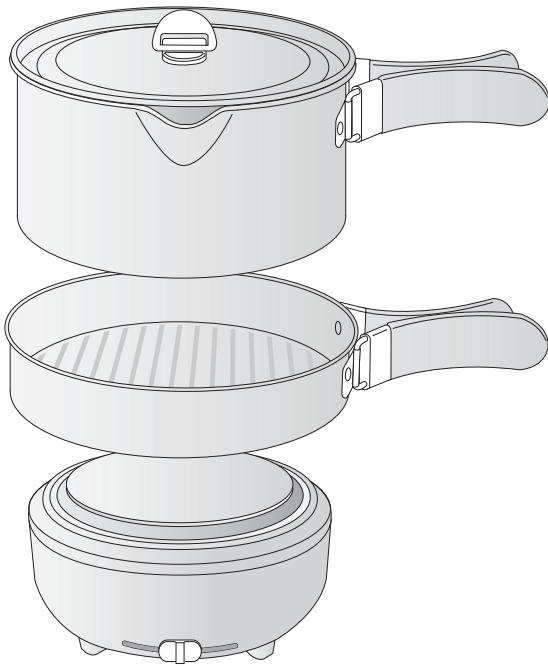


クッキングポット&プレート GGC-W600

取扱説明書

もくじ

保証書付



- 安全上のご注意…………… ①～②
- 使用上のご注意…………… ③
- 各部の名称…………… ④～⑤
- 使いかた…………… ⑥～⑦
- お手入れ…………… ⑧
- 故障かな?と思ったら…………… ⑨
- アフターサービスについて… ⑩
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは、弊社クッキングポット&プレートをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水濡れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたり、鍋・焼きプレートを濡れたまま使用しない

ショート・感電の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



交流100V
15A以上

電源は交流100Vで使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。



根元まで
差し込む

電源プラグ(ソケット)は、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



プラグを
抜く

使用時以外やお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。



電源プラグ(ソケット)を抜くときは、コードを持たずに、必ず電源プラグ(ソケット)を持って引き抜く

感電やショートして発火の原因になります。

警告



プラグを
抜く

異常・故障時には、直ちに使用を中止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

[異常・故障例]

- 使用中、電源プラグやコード・本体が異常に熱くなる。
- 煙が出たりこげくさい臭いがする。
- 本体が変形している。
- 本体の一部が割れたり、ゆるみ・がたつきがある。



禁止

すき間からピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作して、けがの原因になります。



禁止

不安定な場所や、熱に弱いテーブルなどで使わない

じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上でも使わないでください。熱で変形・変色や火災の原因になります。



禁止

調理以外の用途には使わない

やけどやけがの原因になります。



禁止

子供だけで使用したり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。

注意



禁止

水のかかる所や、火気の近くでは使用しない

感電や漏電の原因になります。



禁止

壁や家具の近くや周囲に熱がこもる環境で使わない

熱や蒸気で変形・変色、火災の原因になります。
※壁や家具から10cm以上離してください。



接触禁止

使用中や使用直後は高温部にふれない

やけどの原因になります。



禁止

発熱板や鍋・焼きプレートの裏面が汚れたまま使用しない

汚れてくると異常過熱して発煙・発火したり、故障の原因になります。



禁止

鍋・焼きプレートを直火で加熱したり、空焚きしない

鍋・焼きプレートの変形・破損の原因になります。



禁止

缶詰やビン詰めを直接加熱しない

破裂や赤熱して、やけどやけがの原因になります。



ふたのすき間から出る蒸気や油の飛び散りに注意する

やけどのおそれがあります。



お手入れは本体が冷えてから行う

やけどの原因になります。

使用上のご注意

この製品は一般家庭用です。
業務用には適しません。

- 初めて使うときや長期間保管していたときは、ふた・鍋・焼きプレートを水洗いして、十分に乾燥させてください。
- 初めてお使いになるとき、煙がでたり、においがすることがありますが、故障ではありません。ご使用にとまらなくなりません。
- 長時間使用していると、調理物の油や水の成分によって、ふた・鍋・焼きプレートが変色することがありますが、ご使用に差し支えありません。
- ご使用中、きしみ音が発生することがありますが、ヒーターの熱膨張によるもので故障ではありません。
- 調理以外には使わないでください。故障の原因になります。
- 調理中に鍋・焼きプレートとふたの間からの水や水蒸気・油の飛び散りに注意してください。
- 調理中に多量の冷たい水を鍋・焼きプレートに入れないでください。急激な温度低下によって鍋・焼きプレートが変形するおそれがあります。
- 鍋・焼きプレートのフッ素加工を長持ちさせるために次のことにご注意ください。

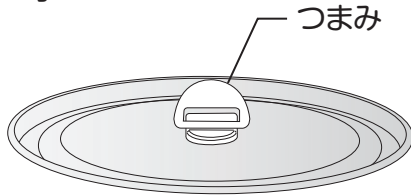
- ・調理物を放置せず、早めにお手入れする
- ・金属製のへらやナイフなど固いものを使用しない
- ・直火で使用したり、空焼きしない
- ・固いスポンジやたわしなどで洗わない
- ・食器乾燥機や食器洗浄機を使わない

必ず、守って
ください

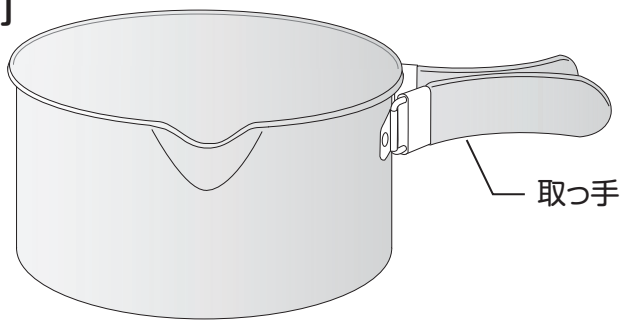


各部の名称

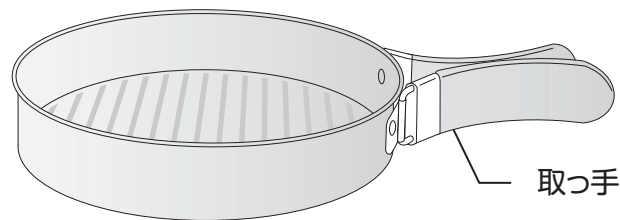
[ふた]



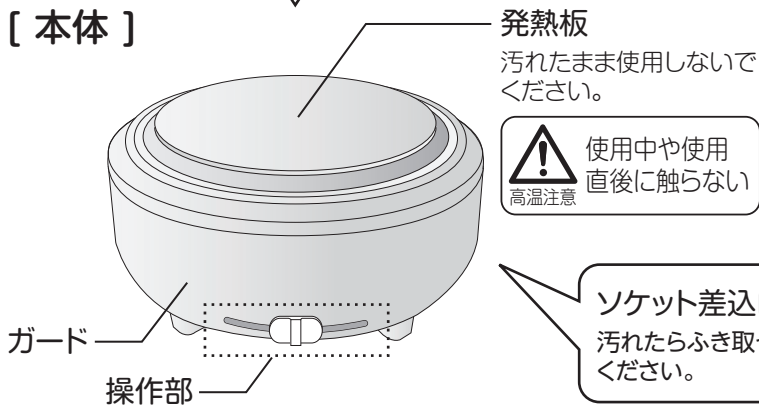
[鍋]



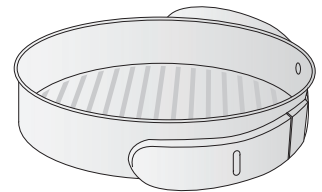
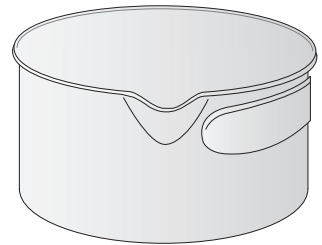
[焼きプレート]



[本体]



鍋・焼きプレートの取っ手は折り畳んで収納できます。

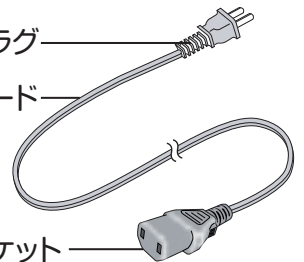


電源コード

付属の専用電源コード以外は、使用しないでください。

電源プラグ

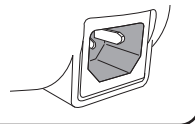
電源コード



ソケット

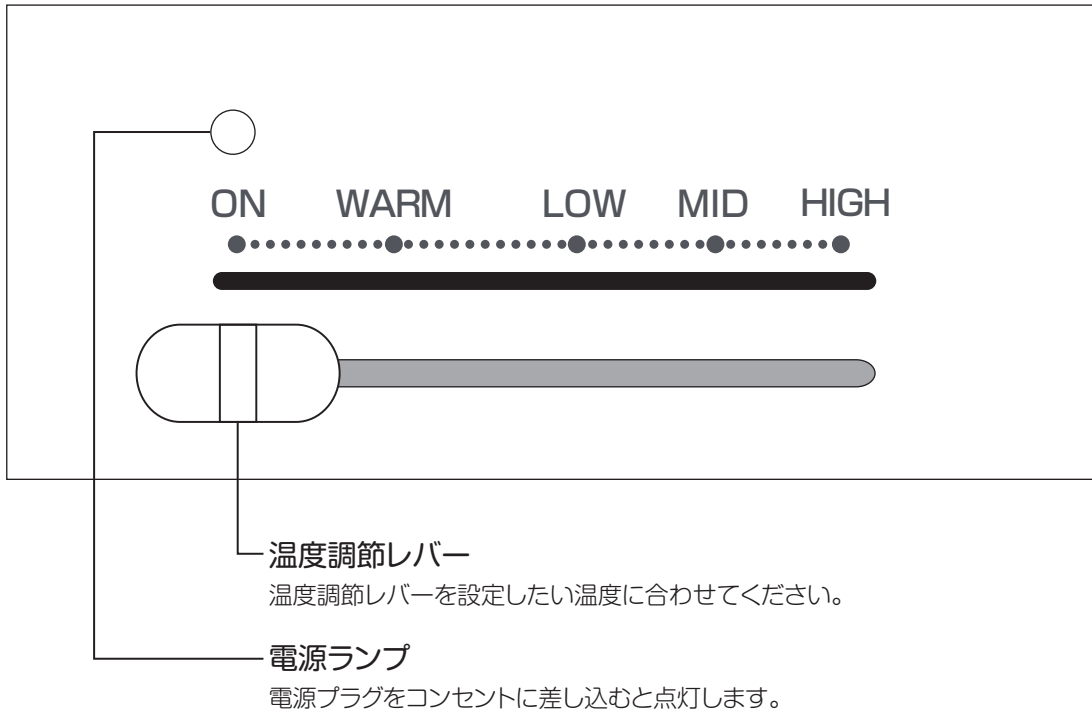
汚れたらふき取ってください。

ソケット差込口
汚れたらふき取ってください。



各部の名称

[操作部]



仕様

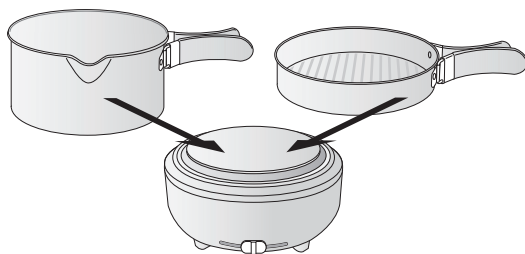
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	600W
本 体 寸 法	155×150×70mm
本 体 質 量	515g(鍋・コード含まず)
電源コード長	1.5m
温度調節範囲	(約)80℃～250℃
鍋 寸 法	直径185×高さ90mm(収納時)
焼きプレート寸法	直径185×高さ40mm(収納時)
ヒ ー タ ー	シーズヒーター

使いかた

1 鍋・焼きプレートをのせる

- 電源コードを本体に接続してください
- ガタつきや傾きがないよう、発熱板に乗せてください。

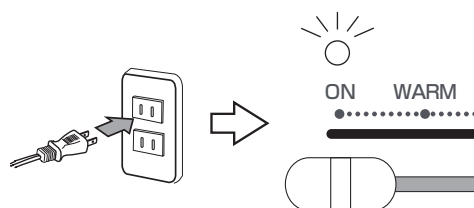
※鍋・焼きプレートの裏面や発熱板に水滴や異物が付着していないか確認してください。付着しているときは、乾いた布などでふき取ってください。



2 電源プラグをコンセントに差し込む

電源ランプが点灯します。

- ※温度調節レバーが「ON」の位置にあることを確認してください。
- ※鍋・焼きプレートがセットされていない状態では絶対に通電しないでください。
- ※コンセントの定格を超えないようにしてください。



3 調理する

〔なべもの〕

- ①水・だし汁（スープ）を入れてふたをします。
- ②温度調節レバーを「HIGH」に合わせます。
- ③沸騰したら材料を入れてください。
- ④温度を下げたいときは、レバーを「LOW」より低い位置にしてください。

〔焼きもの〕

- ①温度調節レバーを料理に応じて設定して、予熱します。
- ②約10分で予熱完了です。調理を始めましょう。
 - 必ず、予熱をしてから調理してください。
 - 予熱の時間は設定目盛りや室温によって異なります。
 - 調理前に必ず食用油をひいてから、ご使用ください。

※調理中に鍋・焼きプレートを取り外したりしないでください。やけどの原因になります。

※調理中、温度調節レバーを動かすときは、周囲が高温になっていますので、ご注意ください。

4 使用後は温度調節レバーを左いっぱいまで動かし、電源プラグをコンセントから抜く



注意

必ず抜いてください。差し込んだままの場合、レバーを不意に動かしてしまったときに加熱し危険です。

使いかた

[温度の目安]

目 盛	温度 (目安)	料理 (参考)
WARM	80℃	保温するとき
LOW	100～130℃	カレー、スープ
MID	150～180℃	ホットケーキ
HIGH	190～250℃	焼きようざ、焼肉

- 調理中にふきこぼれそうになったら、温度調節レバーを「WARM」側に動かし、沸騰を止めてください。また、ふたを取るなどして、ふきこぼれないようにしてください。
- 水や煮汁がソケット差込口にかかったときは、ソケットを抜いて、乾いた布などでふき取ってください。
- 調理中や調理直後にふたをとる場合は、ミトンやふきんなどを使ってふたのつまみを持ち上げてください。(蒸気によるやけどに注意してください。)
- 調理中に多量の冷たい水を鍋・焼きプレートに入れしないでください。急激な温度低下によって鍋・焼きプレートが変形したり、フッ素加工を傷めるおそれがあります。焼きようざなどを調理する際に水が必要なときは、熱いお湯を入れてください。

【温度調節について】

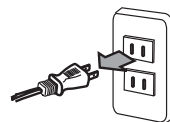
- クッキングポット&プレートは、鍋の温度を温度調節器が感知しヒーターの断続運転によって温度調節をするため、ガスコンロなどと火力調節方法が異なります。鍋・焼きプレートが設定温度になると、温度調節器が働いてヒーターへの通電を停止し、温度が下がってくると、通電を再開して設定された温度まで加熱するようになっています。
- 焼き物・炒め物の場合は温度調節器の設定温度まで上昇しますが、鍋物など、だし(液体)の多い料理の場合、水の沸騰温度(約100℃)を超えた温度以上に設定しても、料理の温度は100℃を大きく超えることはありません。そのため、温度設定を高くしても鍋の温度は、設定した温度まで上がりず沸騰し続けます。特にとろみのついた料理の場合、焦げてしまうこともありますのでご注意ください。
- 沸騰した後、煮込むときは温度調節レバーを「WARM」側にゆっくり動かして沸騰を止め、煮え具合を見ながら、温度を調節してください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く



使用直後は、本体・鍋・焼きプレート・ふたが熱くなっています。
お手入れは十分冷えたことを確認してから行ってください。



2 お手入れをする

本体

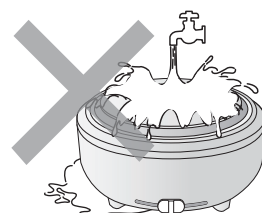


お手入れにはシンナー・クレンザー・金属たわしなどは使わないでください。変色・変質・劣化などの原因になります。

本体外側、発熱板は台所用中性洗剤を含ませたふきんなどで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。

鍋・焼きプレート

- 本体から取り外して台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よく乾かしてください。
- こびりついた汚れはぬるま湯にしばらく浸してから落としてください。
- 洗った後は、十分に乾燥させてください。



丸洗い禁止

発熱板や鍋・焼きプレートの裏面が汚れたまま使用しないでください。

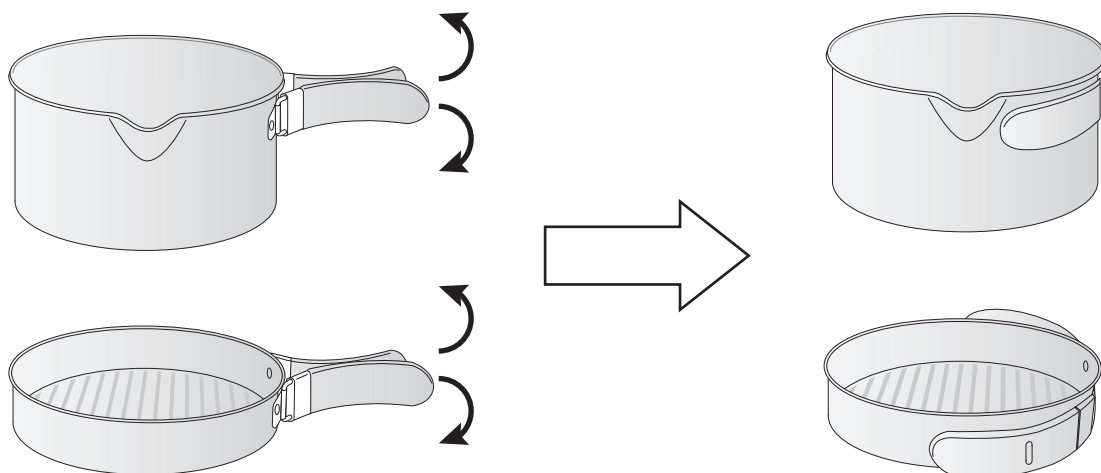
汚れてくると異常過熱して発煙・発火したり、故障の原因になります。

ふた

台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、水で流してからよく乾かしてください。

3 収納する

- お手入れをした後、十分に乾燥させてから湿気のないところに収納してください。
- 鍋・焼きプレートの取っ手は折り畳んで収納できます。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき

調べるところ

鍋・焼きプレートの
温度が上がらない

- 電源プラグが抜けていませんか。
→しっかりと電源プラグを差し込んでください。
- 温度調節レバーが「ON」の位置になっていませんか。
→レバーを調理物によって適切な位置にしてください。
- 鍋・焼きプレートが本体に確実にセットされていますか。
→傾いていたり、浮いていたりする場合は、再度セットしなおしてください。
- 発熱板が汚れていたり、異物が付着していませんか。
→発熱板をお手入れしてください。

使用中に音がする

- 「カチッ」と音がする。
→ヒーターの膨張による音や温度調節器の作動音で故障ではありません。

煙がでたり、においが
する

- はじめてお使いになるときに、煙がでたり、においがすることがありますが、故障ではありません。ご使用とともになくなります。

※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、温度調節レバーを「ON」にして、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

点検 電源コード、電源プラグはときどき点検を行ってください。

- 1.電源プラグが汚れていたり、さびていたり、ホコリが付着していませんか。
→汚れ、さび、ホコリなどを取り除く。
- 2.電源コードに傷がありませんか。
- 3.運転中、電源コードを動かすと電源が切れることがありますか。

※上記の2.および3.の症状があるとき、または1.の場合で汚れなどが取り除けない場合には感電や火災の原因になりますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には、製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分ででの分解・修理は、絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。